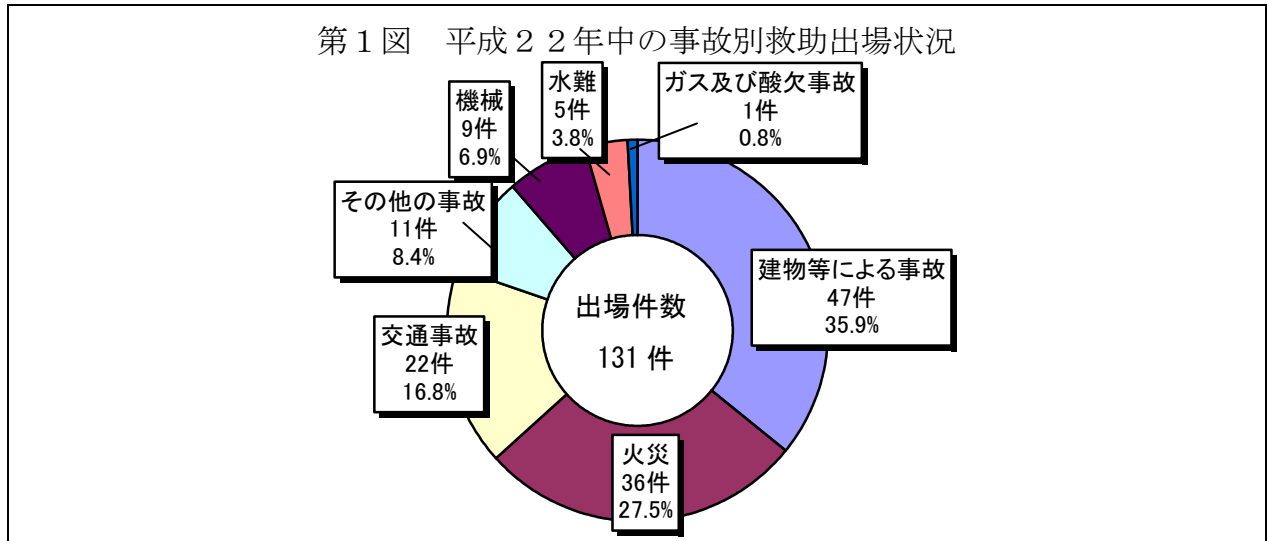


平成22年（1月～12月）における救助概況

- * 比較値については、前年の確定値と比較しています。
- * 端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

1 救助出場状況

平成22年中の救助出場件数（救助活動を行うために出場した件数）は131件で、前年と比べると23件増加している。事故種別では、建物等による事故47件（35.9%）、火災36件（27.5%）、交通事故22件（16.8%）、その他の事故11件（8.4%）、機械等による事故9件（6.9%）、水難事故5件（3.8%）ガス及び酸欠事故1件（0.8%）の順となっている。なお、前年との比較は第1表のとおりである。（第1図、第3図参照）



2 救助活動状況

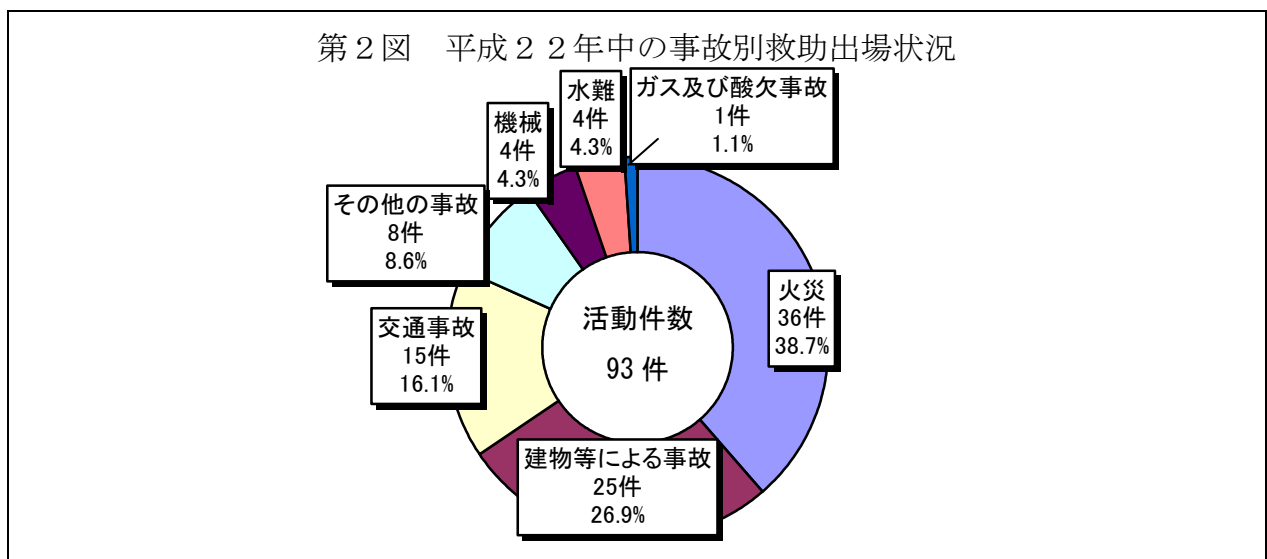
救助活動件数（救助出場件数のうち実際に救助活動を行った件数）は93件で、前年に比較し、20件増加している。事故種別では、火災36件（38.7%）、建物等による事故25件（26.9%）、交通事故15件（16.1%）、その他の事故8件（8.6%）、機械による事故、水難事故各4件（4.3%）、ガス及び酸欠事故1件（1.1%）の順となっている。

なお、前年との比較は第1表のとおりである。

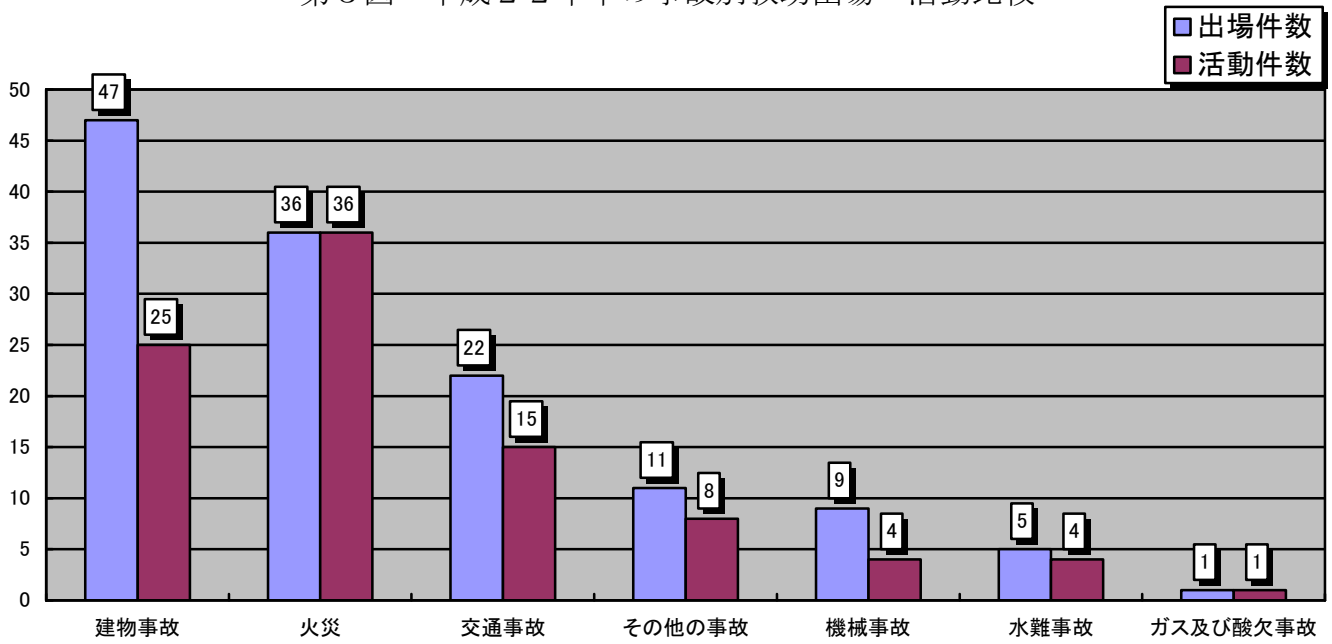
（第2図、第3図参照）

次に、救助活動人員は延べ775人で、救助活動を行った車両は延べ221台となっている。

（第2表、第3表参照）



第3図 平成22年中の事故別救助出場・活動比較



第1表 救助出場・活動状況の前年との比較

() は救助活動件数・△は減少

		平成22年 (A)	平成21年 (B)	増減 (A) - (B)
出 場 件 数		131 (93)	108 (73)	23 (20)
事 故 種 別	火 災	36 (36)	32 (32)	4 (4)
	交 通 事 故	22 (15)	21 (13)	1 (2)
	水 難 事 故	5 (4)	2 (0)	3 (4)
	自 然 災 害	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	機 械 等 に よ る 事 故	9 (4)	2 (0)	7 (4)
	建 物 等 に よ る 事 故	47 (25)	40 (22)	7 (3)
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	1 (1)	2 (2)	△ 1 (△ 1)
	破 裂 事 故	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	そ の 他 の 事 故	11 (8)	9 (4)	2 (4)
救 助 人 員		60	36	24
出 場 人 員		2,898	2,059	839
活 動 人 員		775	501	274
出 場 台 数		741	552	189
活 動 台 数		221	143	78

※ 出場件数とは、救助隊が出場した件数を示し、救助活動件数とは、出場件数のうち消防機関が何らかの救助活動を行った件数を示す。

第2表 救助活動人員

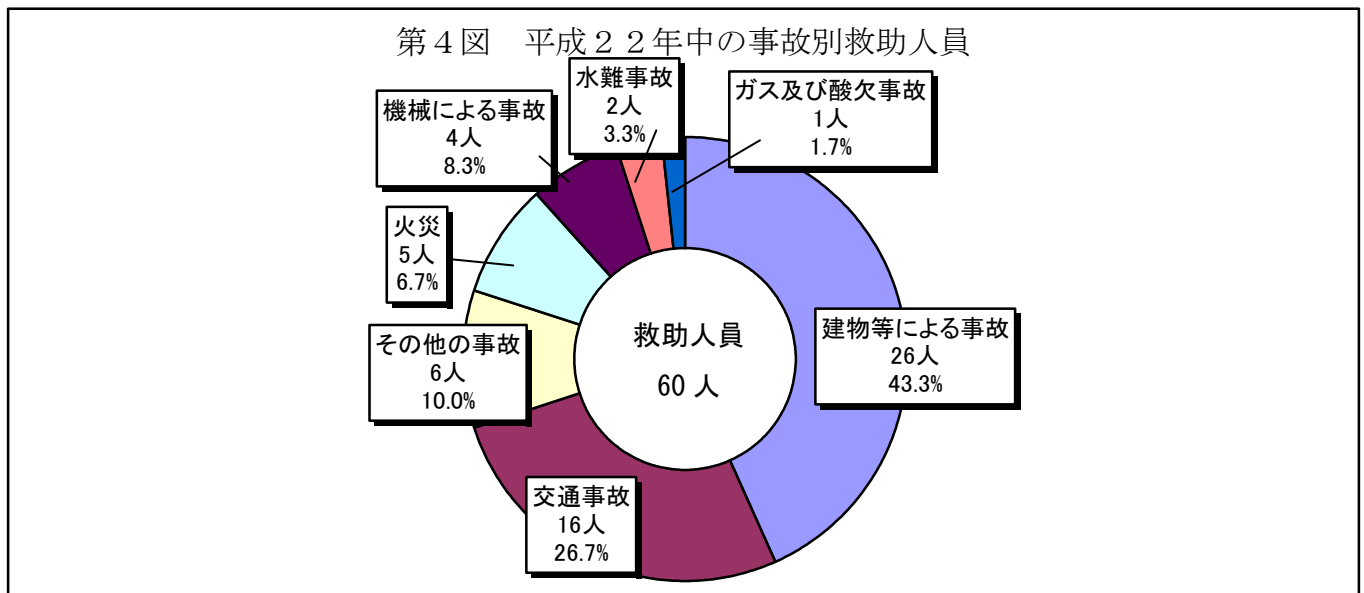
事故種別 隊員	火災	交通事故	水難事故	自然災害	よる 事故	機械等 に	よる 事故	建物等 に	酸欠事 故	ガス及 び	破裂事 故	その 他の 事 故	計 (人)
救助隊員	148	56	25	0	16	88	8	0	28	369			
消防隊員	54	53	24	0	18	59	14	0	19	241			
救急隊員	21	51	9	0	9	54	6	0	15	165			
計	223	160	58	0	43	201	28	0	62	775			

第3表 救助活動を行った車両

事故種別 車両	火災	交通事故	水難事故	自然災害	よる 事故	機械等 に	よる 事故	建物等 に	酸欠事 故	ガス及 び	破裂事 故	その 他の 事 故	計 (台)
救助工作車	18	8	3	0	3	10	1	0	4	47			
ポンプ車 (タンク車含)	33	21	8	0	5	30	4	0	7	108			
はしご車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
化学車	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3			
指揮車 指令車	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2			
救急車	6	17	3	0	3	19	2	0	5	55			
その他の 消防車両	1	1	1	0	1	0	1	0	1	6			
その他の 車両	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
計	58	50	16	0	12	59	8	0	18	221			

3 救助人員状況

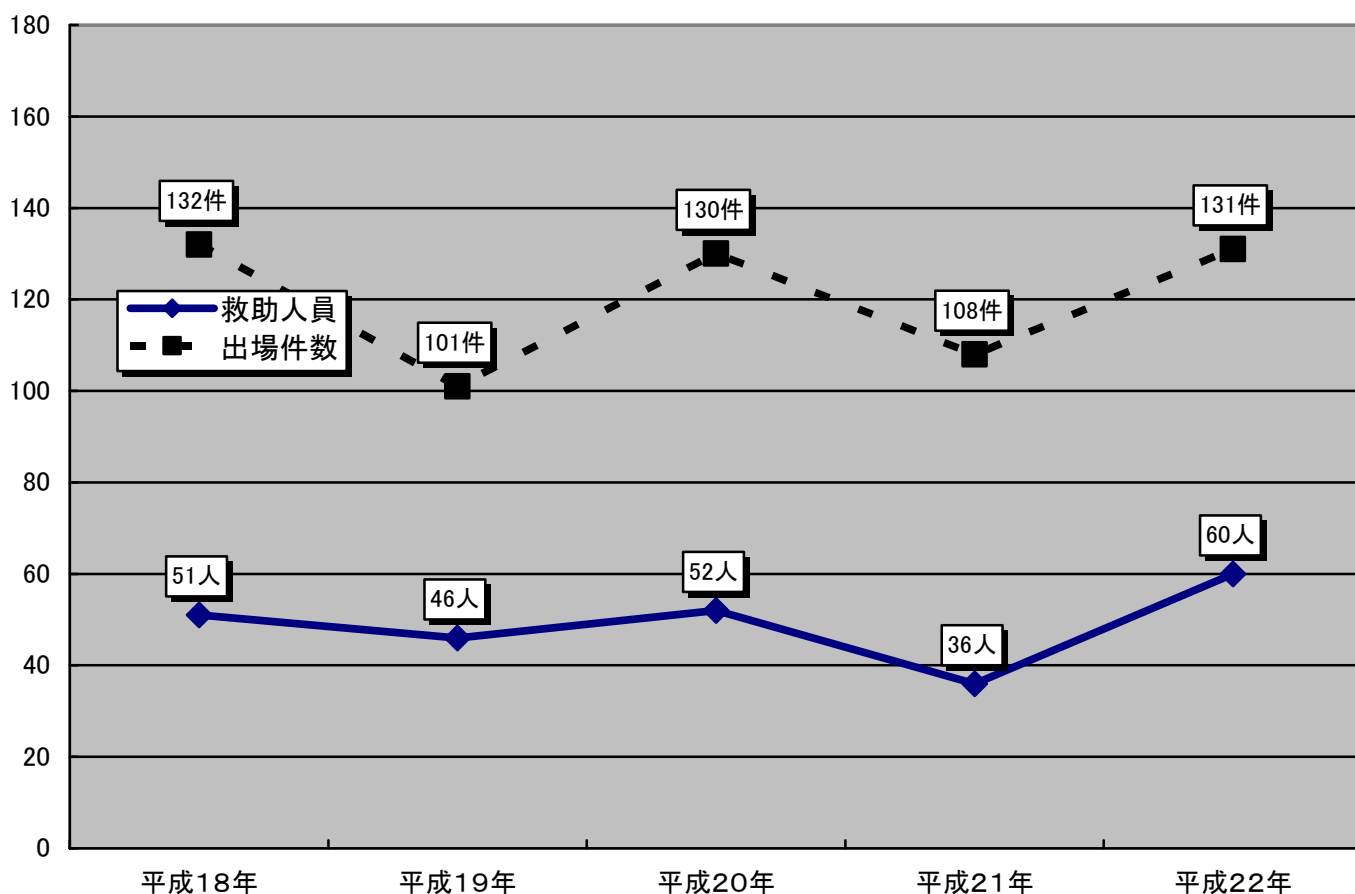
平成22年中の救助活動における救助人員は60人で、前年と比べると24人増加しており、事故種別では、建物等による事故26人(43.3%)、交通事故16人(26.7%)、その他の事故6人(10.0%)、火災5人(8.3%)、機械による事故4人(6.7%)、水難事故2人(3.3%)、ガス及び酸欠事故1人(1.7%)となっている。(第4図参照)



4 過去5年間の救助出場件数及び救助人員の推移

過去5年間の救助出場件数及び救助人員の推移は第5図・第4表のとおりである。

第5図 過去5年間の救助出場件数・救助人員の推移



第4表 過去5年間の事故別救助出場件数及び救助人員状況

年	事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害	よる機械等に	よる建物等に	酸欠事故	ガス及び	破裂事故	その他の	計
平成18年	出場件数	39	22	0	0	10	51	0	0	0	10	132
	救助人員	1	10	0	0	4	31	0	0	0	5	51
平成19年	出場件数	41	29	0	0	3	17	1	0	0	10	101
	救助人員	2	16	0	0	5	13	1	0	0	9	46
平成20年	出場件数	38	27	2	0	9	35	2	0	0	17	130
	救助人員	5	13	0	0	7	19	2	0	0	6	52
平成21年	出場件数	32	21	2	0	2	40	2	0	0	9	108
	救助人員	1	12	0	0	0	18	1	0	0	4	36
平成22年	出場件数	36	22	5	0	9	47	1	0	0	11	131
	救助人員	5	16	2	0	4	26	1	0	0	6	60